

今月のおすすめ図書

◆一般図書

ほぼねこ



RIKU/著 辰日出版

大型のネコ科の猛獣たちの写真集。紹介される動物たちの仕草や表情はネコそのもの！ネコ科ということに納得し、あまりの可愛さに癒されます。

散歩が楽しくなる日本の色手帳



日本色彩学会/監修 東京書籍

本格的な春が来ました。散歩のお供に、この手帳を片手に日本の色を学んでみませんか？美しい写真も多数掲載され、手のひらサイズで持ち歩きやすい1冊です。

♥児童図書

図書館がくれた宝物



ケイト・アルバス/作 榊田 理絵/訳 徳間書店

第二次大戦下、親代わりになってくれる人を探すために疎開した3人兄弟。村の図書館で過ごす時間だけが、唯一の救いだった…。

さくらいろのりゅう



町田尚子/作 アリス館

山奥の泉で美しい青い竜に出会い仲良くなった孤独な少女コイシ。その竜のうろこで金もうけをたくらむ欲ばりな村人たち。そして迎える結末は…。

ぶらり らいぶらり

米子市立図書館からのお知らせ

米子市立図書館 (☎22-2612 FAX22-2637)

開館時間 平日：午前9時～午後7時

土・日・祝日：午前10時～午後6時

今月の休館日 毎週月曜日、29日(月・祝) 30日(火)

ひらいてワクワク

めくってドキドキ

こどもの読書週間 イベントを開催します！

4月23日は「子ども読書の日」。この日から5月12日までは「こどもの読書週間」です。米子市立図書館では、おはなし会や本の展示、本の福袋などを行います。どうぞこの機会に皆さんで読書をお楽しみください。

◆4月21日(日) 午前11時～

▷えいごでおはなし会

ゲスト：酒井康宏先生

(米子工業高等専門学校名誉教授)

◆4月20日(土)～5月30日(木)

▷みんなでつくろう！YONA本(よなぼん) だ

▷子どもにおくる本(展示)

▷春のわくわく本の福袋

(なくなり次第終了)

▷どくしょつうちょう ほか



おすすめの本を紹介する
YONA本だ

読書がもっと
好きになる！

今月の催し (☆印は要事前予約)

「おはなし会」

▽木曜おはなし会(ほしのぎんか・火曜の会) 毎週木曜日 午前10時40分

▽夕方おはなし会(図書館職員)

9日(火) 午後4時

▽おはなしかご(米子おはなしかご)

20日(土) 午前10時30分

「各種講座」

▽つつじ読書会『読書会という幸福』

向井和美著(岩波書店) (初めての方☆) 6日(土) 午後2時

▽楽しく漢文に学ぶ会(初めてのの方☆)

7日(日) 午後1時30分

▽いきいき長寿音読教室(☆)

9日(火) 午後3時、10日(水) 午前10時30分(2日(火) 午前9時受付開始)

※5月の予約は5月1日(水)受付開始

▽鳥取大学サイエンスアカデミー

13日(土)、27日(土) 午前10時30分

▽古文書研究会「多比能實知久佐」ほか

27日(土) 午後1時30分

▽百人一首を読み解く

5月から開催(年10回連続講座)

受付期間 4月2日(火)～16日(火)

対象 年間を通して参加できる方

応募多数の場合は抽選。くわしくは

チラシまたはホームページで。

「2階ギャラリー」

▽JICA海外協力隊パネル展示

19日(金)～5月10日(金)



米子水鳥公園の指導員（レンジャー）が
日々の活動をご紹介します！

米子水鳥公園 レンジャー通信

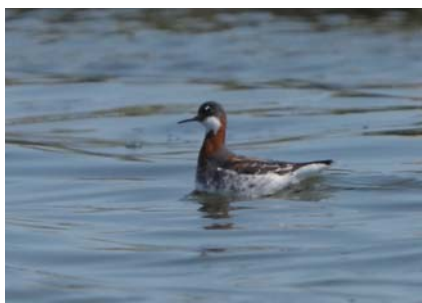
文／米子水鳥公園統括指導員 桐原 佳介

アカエリヒレアシシギは、名前のとおり首が赤く、脚に水かきがあるシギの仲間です。オスとメスの羽色が異なる場合、オスの方が派手な種類が多いですが、アカエリヒレアシシギはメスの方が派手です。また、プロ野球のナイター中の球場に群れが飛来して試合が中断し、話題になることが時々あります。

アカエリヒレアシシギ

この時は、水面をつつきながら泳ぎ回っていて、時々水面を走って何かを追いかけていました。望遠鏡で観察していても何を追っているのか分かりませんでした。写真撮って拡大してみると、水面に小さな虫がたくさんいて、それを次々と捕らえて食べていることが分かりました。

水かきのある脚で水面を泳ぎ回り、ピンセットのような細長く鋭いくちばしで、小さな虫を捕えるという行動は、この鳥の体のつくりから見ても合理的で、感心・納得しました。



赤い首が美しいメス



水面にいる小さな虫を捕らえる

美術館通信

山陰ビデオシステム 設立45年記念企画 令和6年度 米子市美術館特別共催展 佐藤健寿展『奇界／世界』

これまで世界120か国以上を巡り、世界各地の“奇妙なもの”を対象に博物学的・美学的視点から撮影を続けてきた写真家・佐藤健寿。テレビ・ラジオ・雑誌への出演も多数あります。こちらの作品は、青空の下巨大なマトリョーシカがそびえ立つ『マトリョーシカ・ホテル』。タイトルの通り、こちらは実はホテルです。中は空洞で、1,000部屋を超える客室が円筒形の壁面に沿って並びます。家具やアメニティーにまでマトリョーシカがデザインされているそうです。本展には、佐藤健寿の代表作『奇界遺産』や『世界』、国立民族学博物館所蔵の民族資料など200点あまりが一堂に集まります。文化や建築、自然が生んだ奇景、奇妙に見える風俗を持つ人々など、驚きや好奇心をかき立てる作品をぜひご覧ください。



マトリョーシカ・ホテル／中国 2018年 ©KENJI SATO

さらに当館展示のために山陰地方で撮り下ろした特別な作品も必見です。

◆会期 4月7日(日)～5月26日(日) [水曜日休館] ※5月1日(水)・8日(水)は開館

◆観覧料 一般・高大生 1,300円(前売り 1,000円) ※中学生以下無料

〒米子市美術館 (☎ 34-2424 FAX 33-0679)